

Genko通信



Hikone Technical High School

令和4年1月25日 No.9



滋賀県立彦根工業高等学校 総務部工業課

〒522-0222 彦根市南川瀬町1310

Tel. 0749-28-2201(代) Fax. 0749-28-2936

2020年 創立100周年を迎えました

☆滋賀県電気工事工業組合との交流事業(11/24・本校・2年電気科)



いつもは机上での電気工事実習ですが、ヘルメットをかぶり、脚立に乗って、職人の方のベルトをして・・・と初めての体験ばかりで難しそうでした。LEDが点いた時は歓声があがり、とても喜んでいました。高所作業車は風もあり揺れましたが、どちらも貴重な体験でした。

☆小学校出前授業～プログラミング(11/26若葉小・3年電気科)



電気科情報系では初めての小学校出前授業に出かけました。小学校ではプログラミング教育が進んでいると思っていましたがそれほどでもなく、小学校の先生も一緒に楽しく行えました。準備していた冊子も活用してもらい『Scratch(スクラッチ)』によるプログラミングを行いました。河瀬小と亀山小にも訪問する予定です。

☆座編み椅子贈呈

(11/26・彦根中学校・3年建設科)



実習で作った座編み椅子を、母校に寄贈しました！後輩たちには、大事に使ってほしいと思います。お世話になった先生方にも挨拶ができ、良い恩返しができました。

☆技能検定表彰式

(11/30・滋賀県庁・2年建設科)

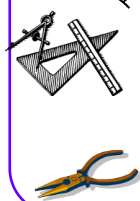


技能検定建築大工の競技会で、2年建設科西村洸輝くんが職業能力開発協会会長賞をいただきました。本校生とポリテクカレッジ、テクノカレッジの学生が参加して行われ、2時間45分で作品を仕上げました。練習を頑張った甲斐がありました！（本人談）

☆彦根発◎笑顔いっぱいプロジェクト 表彰式(11/27・ビバシティ平和堂・3年機械科)

平和堂・麒麟・ブリヂストン共同企画の「彦根の次世代を担う学生たちの街おこしの夢を応援～高校生と大学生の連携・交流による地域活動支援～」に応募した3年機械科2組の課題研究班(代表 山川拓馬さん)が75件の応募の中から見事に「優秀賞」に選ばれました。応募タイトルは「リサイクル商品のブランド化」で、彦根市民の皆さんや彦根に観光に来られた方々にリサイクルの意識を持ってもらい、彦根の文化財や琵琶湖を守ろうという企画です。選考は書類審査で8作品が選ばれ、その後、審査員の前でプレゼンテーションを行い、優秀賞3作品と特別賞1作品が選ばれました。優秀賞に選ばれた3作品は滋賀大学の授業でもプレゼンテーションを行い、実現化に向けた取り組みを大学の授業で実施していただきます。





Genko通信

2020年創立100周年を迎えました



Hikone Technical High School

令和4年1月25日 No.10



滋賀県立彦根工業高等学校 総務部工業課

〒522-0222 彦根市南川瀬町1310

Tel. 0749-28-2201(代) Fax. 0749-28-2936

12/8・10 『近江マイスター』☆カンパニーリーダー研修

於：本校建設棟



マイスター・ハイスクール事業で本校が展開するカンパニー活動について、滋賀大学経済学部企業経営学科の山下准教授をお招きし、12月8日(水)、12月10日(金)の2日間リーダー研修を行いました。1日目は企画力をテーマに、小グループを形成してグループ内でヒーロー役と、インタビュアーに分かれてのヒアリング力育成の実習を行いました。生徒はヒーロー役にインタビュアーとして評価されることを目指して取り組む様子が見られました。2日目はデザインシンキングをテーマに不満やイライラをグループで話し合い、それを解消する製品を現在の技術力を無視して考える実習を行いました。技術に囚われないことで自由な発想が生まれ、真剣な様子で製品を企画していました。最後には考えた製品について発表し、出された面白いアイディアに歓声が沸いていました。両日ともマイスター・ハイスクールCEOの青木先生と産業実務家教員と橋岡先生にも生徒と同じグループに入り講義に参加していただきました。生徒は緊張ながらもお2人にインタビューし、企画について相談などを行いました。2日間にわたり山下先生からは「やってみて、失敗をして、学ぶ」、「模範解答はない」ということを丁寧に話していただき、生徒はチャレンジする気持ちで取り組むことができました。実習がメインの講義で知識を教えるのではなく、考え方を学ばせていただいた2日間になりました。

・「ヒーローが気持ちよくインタビューに答えられるように考えて質問することに苦労しましたが、評価してもらえてうれしかったです。」

・「企画力を高めるためには、『やってみて、失敗をして、学ぶ』の流れが大切だと学ぶことができました。」「失敗が大切な要素として取り上げられていることに新鮮さを感じました。」生徒談
山下先生ありがとうございました。

【備考】カンパニー制とは

少人数のグループで、ものづくりや社会に貢献できる企画を自分たちで企画し取り組みを進めます。工業高校生の持つオリジナリティを大切にしながら、経営者的な視点を持って未来の産業社会に携わるための力や企画力、オーナーシップを育てることを目標とします。



☆100周年記念式典(12/11・ひこね文化プラザ、本校(リモート))



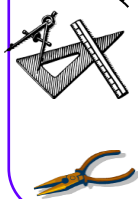
(株)植松電機 植松様



三日月知事



好天の12月11日(土)13時よりひこね市文化プラザで創立100周年記念式典および記念講演を執り行いました。会場には知事をはじめとする来賓の方々と事業にご寄付をいただいた90名余りの方々の出席を賜り、本校3年生、一部教職員が参加しました。学校には本校1、2年生および定時制1～4年生と教職員がリモートライブ配信で参加しました。記念講演では北海道で民間のロケット開発事業を行われている株式会社植松電機より植松努様を招き、「思うは招く～夢があればなんでもできる～」というテーマでご講演をいただきました。本校創立100年となる昨年(令和2年)に開催を行う予定でしたが、コロナ禍の影響により1年延期し、更に内容と規模の縮小した形の開催となりましたが、会場、学校で生徒は真剣に話に傾聴していました。



Genko通信

2020年 創立100周年を迎えました

12/16 県立大学等連携プロジェクト☆あいとうエコプラザ菜の花館

於：道の駅あいとうマーガレットステーション



本校から1年生21名と教職員3名が東近江市の「あいとうエコプラザ菜の花館」で取組みについて学びました。「あいとうエコプラザ菜の花館」は、廃食油からバイオディーゼル燃料(BDF)を精製され、そこで作られた燃料を使って、プラザの発電燃料に使用するだけでなく、コミュニティバスの燃料としても使用されており、全国各地からも取組みを学びに来られる施設です。今回生徒は、回収された廃食油からバイオ燃料への精製過程の実験をさせていただき、実際にその燃料で発電機により発電を行いました。また、菜種から油を搾油する体験もさせていただきました。生徒は終始楽しく体験を行い、廃食油とバイオ燃料に変化させる薬剤で分離し、加熱攪拌機を使用して、エステル交換反応により混ざり合うまでの過程を食いつくように見ていました。10月に種まきをした本校の菜の花は順調に育っており、今後このような取組みを本校でも展開していきます。



12/17・18 マイスター・ハイスクール☆マイスターキャンプ開催

於：セミナーハウス・体育館他



防災教育を通じて、マイスター・ハイスクール事業におけるリーダー養成を目指すマイスターキャンプを12月17日、18日の2日に渡り開催しました。ご協力いただいた彦根市役所危機管理課の指導の下、避難所の開設や運営の訓練を行い、避難所での寝食を体験しながら、仲間や大人とじっくり語る時間を設定しました。避難所訓練では体育館でのパーティションの設置や住居スペース、通路などの分けを行い、教員を避難者と見立てた受付や案内の訓練を行いました。夕食には本校が取り組んでいる「かまどベンチ」での調理を体験するなど地域の避難所で自ら率先して行動できるように体験を行いました。語る時間では司会進行に中野栄美子さんをお迎えし、ゲストに本校OBで滋賀県教育委員の岡崎さんにも参加していただきました。生徒は今までの自分史を作って発表し、いつもと違う仲間と共有しながら認め合う時間になりました。



「1番学んだことは人との繋がりについてだと思います。知らなかった運営側からの配慮、初めて会った人との会話や協力など学べる機会が多くありました。今回のことで親しくなれた先輩もいて、とても充実した2日間でした。」
「受付する際にいろんな人が避難されてきて、特に日本語が話せない外国人の方が避難してきて、体調不良などコロナウィルスの感染が疑われる方が来られたり、本当にいろんな人が避難所に来られるんだと感じました。」
「地震大国であるからこそ、今回の経験を生かし災害の時に自分のことだけでなく、避難所の設営を手伝えるようにしたいです。そのためにまずは自分の命は自分で守ること、落ちていたゴミに気づき、しっかり拾えるようにしたいです。」(生徒談)
今回の経験を生かし学校のリーダーとして成長し、将来は地域や職場で活躍してくれることを期待しています。
関わってくださった多くの皆様に感謝申し上げます。